

プログラム名 (40字以内)	サウジアラビア プリンセス・ヌーラ大学 国際交流体験活動		
団体名/所属	総括プロジェクト機構「太陽光を機軸とした持続可能グローバルエネルギーシステム」総括寄付講座		
活動区分	国際交流体験活動	希望する選考方法	書類審査後に面接
募集人数	3~6人	選考対象	大学院学生を含まない
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	女子学部生1~3年生(英語による解説が理解でき、現地学生と交流できる程度の英語力を有すること) 帰国後の報告会に必ず出席すること		
活動期間	2025/2月中旬~2月下旬(予定)10日間	主な活動予定場所	サウジアラビア リヤド
プログラム実施の目的	基本的なアラビア語を習得すると同時に、アラブ文化に触れ、サウジアラビアの女子大学生との文化交流を図る。		
具体的な内容(800字程度)	<p>◆本体験活動では、サウジアラビアの首都リヤドにある女子大学プリンセス・ヌーラ大学にて、学生が基本的なアラビア語を習得し、現地大学生との文化交流を図る事を目的としている。基礎アラビア語の習得に関しては、プリンセス・ヌーラ大学が本活動のために用意した短期集中プログラムに参加し、アラビア語のアルファベットや基本的な会話を習得する。</p> <p>◆また、プリンセス・ヌーラ大学滞在中には現地学生との交流イベントに参加し異文化交流を体験する。特に、イスラム圏の女性がおかれている社会環境に関して一般的に認識されている状況と実態との違いや、イスラムの教義の人文的背景に関する本質的理解を深める。プリンセス・ヌーラ大学では多くの講義が英語で行われており、在校生、特に理系の学生は基本的に英語が堪能である。よって本プログラム参加者には英語で自身や日本文化の紹介ができることが求められる。</p> <p>◆現地滞在中、参加者はプログラムの空き時間を使いリヤド市内を視察し、近代的なモールや伝統的な市場であるスークを訪れサウジアラビアの文化や社会に触れる。また、Misk財団、在サウジ日本大使館などを表敬訪問し、日サ関係の現状と将来に関して学習する。</p> <p>◆状況により直前にオンライン実施に切り替える可能性あり。</p>		
【総額】参加するための費用	約32万円(昨年度の費用:フライト約30万円、ビザ取得代金約2万円)食費は実費		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	昨年度は無料		
【内訳】参加するための費用(交通費)	交通費・現地交通費:実費		
【内訳】参加するための費用(その他)	ビザ取得費用:約2万円		
奨励金額(予定)	80,000円		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムに関する問合せ先: imaizumi@hotaka.t.u-tokyo.ac.jp (今泉) ・書類選考通過者のみ面接を実施する ・事前オリエンテーションの出席必須 ・引率職員が同行 ・宿泊先はプリンセス・ヌーラ大学の学生寮を予定 ・現地滞在中は、現地の服装規定、行動規範に従うことが求められる ・A型肝炎の予防接種を推奨 <p style="text-align: right;">・日程変更の可能性あり</p>		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	プリンセス・ヌーラ大学: http://www.pnu.edu.sa/en/Pages/Home.aspx		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	太陽光寄付講座(GS+I): http://www.gsi.u-tokyo.ac.jp/		
この企画に対する担当者(応募団体の参加の有無)	参加する		